

第9回 名古屋大学社会学会大会プログラム

日時 2009年7月25日(土) 午後2時半～午後5時半
会場 名古屋大学情報文化学部4階 SIS3 講義室

報告

1. 木田 勇輔 コアリション形成と復興政策の展開
——戦災復興期名古屋における都市政治の展開——
2. 後藤 悠里 障害者差別禁止法における障害観と権利概念
——香港立法会における議論を一事例として——
3. 秋山 幸子 歴史的環境保全における市民の「学び」
——「吉備の中山を守る会」の活動事例から——
4. 安林 奈緒美 養護教諭の地位と専門性をめぐる検討
——日・米・台の国際比較から——

<編集後記>

名古屋大学社会学会会報の記念すべき第10号をお届けします。本誌は、講座の正式な学術誌である『名古屋大学社会学論集』(こちらは第30号を準備中です)とは別に、発展途上の研究に関する情報交流の場を提供しようとするものです。今号も、名大社会学の活況の一端を伝える内容に仕上がったのではないかと自讃しています。ちなみに名大社会学は今秋めでたく開講60周年を迎えますが、大学院が現行の社会学講座になったのは2001年4月のことで、名大社会学会の発足が同年9月、会報の創刊が翌年6月のことだそうです。以後、2002～2003年度は夏冬2号ずつ、2004～2006年度は夏のみ、2007～2008年度は冬のみ、会報を刊行してきました。今回から夏の刊行に戻したのは渡辺助教の策略ですが、これが年2回刊行への復帰の布石かどうかはまだ聞いていません。それはともかく、今号からPDF版をインターネット上に公開することにしました。全世界の読者にメッセージが届くのを願ってのことです。(上村)